

新居浜市が SDGs 未来都市に選出！

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け優れた取り組みを行う自治体として、5月20日、本市は国（内閣府）から令和4年度「SDGs 未来都市」に選定されました。

問 総合政策課 ☎ 65-1210



SDGs 未来都市って何？

SDGsの達成に向け持続可能なまちづくりを推進する自治体を国が選定する制度です。SDGsとは、平成27年9月に国連で採択された17のゴール・169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」であり、世界共通の指標として「誰一人取り残さない持続可能な社会づくり」の達成を目指すものです。

今回市が国へ提案した「**～先人の思いをつなぎ、シビックプライドを次のアクションへ～『SDGs 未来都市 にいはま』プロジェクト**」が優れた内容と認められ、本市が「SDGs 未来都市」に選定されました。

どんなプロジェクトなの？

先人から受け継いだ、本市の豊かな自然・産業基盤を次の世代にも引き継いでいくため、①経済、②社会、③環境の3つの側面で行い、好循環を生むことで、人口減少や環境保全などの課題に対応し、**誰一人取り残さない、持続可能な新居浜市を目指すプロジェクト**です。これまで行ってきた3分野の主な取り組みは次の通りです。

①経済分野

- ・新居浜市 SDGs 推進企業登録制度
- ・新居浜市働き方改革推進企業登録制度



②社会分野

- ・「新居浜版 SDGs」テキストを活用した身近な問題としてのSDGs教育の推進



③環境分野

- ・脱炭素社会の実現に向けたごみの減量などの取り組み
- ・新居浜港におけるカーボンニュートラルポート形成の推進



今後の取り組み

市としてSDGsの達成に貢献するため、これまでの取り組みを継続するとともに、SDGs推進に取り組んでいる市民、団体、企業間の連携、情報共有を促進するための協議会「(仮称) にいはまSDGsプラットフォーム」の設置を予定しています。